

路肩規制 の作業手順 (台車使用の場合)

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の	リスク評	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業打合せ(KY活動)各項目を読みあげ確認</li> <li>作業人員、車両の確認</li> <li>保護員の点検</li> <li>使用機械、器具の点検</li> <li>積み荷の確認、規制箇所との規制材数量確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業分担と配置の確認をし、保安員と作業員に対し明確に指示をする。</li> <li>運行前点検、持ち込み点検簿等による(回転灯・工事用車両の表示)</li> <li>事前に規制種別を確認し、不足物の無い様に積み込む</li> <li>規制方法、規制位置でクランプの位置が変わるので取り付け方向を規制実施前に確認し取り付ける</li> </ul>						
規制材(標識)設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制材(標識)の設置</li> <li>登坂、通常路肩、ランプ設置区別(規制図による)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黄旗等による一般車への注意喚起(線形の悪い場合は保安員の増員を検討する)・</li> <li>車両移動時の合図の確認(施工前に前進、停止、後退の合図方法を確認)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車に作業員が轢かれケガをする</li> </ul>	5	3	8	IV	・保安員の配置
テーパー部設置・撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常路肩規制は矢板3枚を路肩に設置し警告灯を3枚目に設置する</li> <li>携行式LED警告灯 ビカポンを矢印の前に設置する(2枚目)</li> <li>設置撤去時には、保安員が発煙筒と黄旗を使用し通行車両に注意喚起を行い、作業員により矢印板の設置を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制箇所を前日に把握し工事予定を計画する</li> <li>矢印板は、矢印板専用ウエイトで固定する。</li> <li>回転灯転倒防止処置及び標識車のハンドルきり輪止めの確認</li> <li>発炎筒の使用後の回収と、発炎筒による火災に注意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車が突っ込んで作業員を撥ねる</li> <li>発炎筒による火災が発生する</li> </ul>	5	3	8	IV	・発煙筒、黄旗による注意喚起
ラバコン設置・撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラバコンを20m間隔に設置する</li> <li>工事箇所の手前に【とまるくん】を所定の位置に設置する</li> <li>規制設置延長が短い場合は、ラバーコーン設置区間に保安員を配置し通行車両の監視を行い、台車を利用し作業員が設置撤去を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県側作業区間は10m間隔に設置</li> <li>ラバコン設置位置及び向きを統一して設置</li> <li>台車利用の際の置き方は、転がり防止の対策を取る。</li> <li>作業車の荷台の整理整頓に心掛ける。</li> <li>台車は自動停止装置付きの物を必ず使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台車が転がり規制外へはみ出す</li> </ul>	3	2	5	III	・自動停止装置付きの台車を使用
交通監視・交通誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>保安員は、標識車付近で監視し、異常があれば是正する</li> <li>保安員による規制進入・退出の誘導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制進入時は大きく黄旗を振り、合図を送る</li> <li>規制退出時は、合図を打合せ通行車両の合い間を広く取り誘導する</li> <li>作業車の後退等の誘導は、運転手より見える位置(路肩側)で笛を使用し誘導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入退出時、車両と一般車がぶつかる</li> <li>作業車がバックして保安員を轢く</li> </ul>	4	2	6	III	・保安員を配置する
規制材(標識)撤収	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のインターまで回送、規制材(標識)は前進撤去とし、上流部から回収する</li> <li>積みこみ完了後、規制解除連絡をする</li> <li>メンテ事務所への規制終了連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業員の安全確保は保安員を付け確実に行う</li> <li>状況によりラバコン、矢印板を台車にて回収する(回収時は保安員を配置する)</li> <li>台車は自動停止付きの物を必ず使用する。</li> <li>積み荷の固定(クランプ使用)確認</li> <li>規制整理番号確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車に追突されケガをする</li> <li>台車が転がり規制外へはみ出す</li> </ul>	5	3	8	IV	・保安員の配置

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>後退時には誘導員の誘導で後退する。</li> <li>保安員は作業を手伝わない</li> <li>作業員を荷台に乗せている時は移動に注意をする(規制内)</li> <li>ワイド車両の使用禁止(路肩部幅員よりはみ出す為)</li> <li>発煙筒の有効使用</li> <li>規制箇所の確認</li> <li>積荷の飛散防止確認</li> <li>標識・立て看板の転倒防止</li> <li>作業・規制についての打ち合わせは、メンテ職員を含めたKYミーティングを実施する。</li> <li>機材固定用の車両クランプを使用したロープ・網等の取り付け厳守。</li> <li>2名以上の複数作業であっても単独作業を行わない。</li> <li>規制材の荷降ろし・積み込み作業は通行帯側では、絶対行わない。</li> <li>工事内容・規制内容を関係職員との打合せを実施し規制予定を確認する。</li> <li>徒歩により規制標識の撤去作業は禁止</li> <li>規制材設置時・監視時の歩行は、出来る限り路肩側を通行する。</li> <li>標識車の表示変更は、必ず2名以上にて標識を目視確認する</li> </ul>
------	---